2023年 ふくやま書道美術館催物案内　12月

日	曜	常設展示室・展示室
1	金	秋の所蔵品展Ⅱ
2	土	「桃源郷をたずねる － 中国山水画と文人たちの理想」
3	日	会期：2023年10月20日(金)～12月13日(水)
4	月	休館日：月曜休館
5	火	会　場：常設展示室・展示室
6	水	★夜間開館のお知らせ★ 12月1日(金)、2日(土)、8日(金)、9日(土)は19時まで開館。
7	木	
8	金	
9	土	展覧会内容
10	日	山水画は、墨の濃淡や筆線の抑揚、ぼかしやにじみを生かした水墨画のジャンルの一つです。実景を基に描いたものもありますが、多くは道教思想に見る仙人が棲むという仙境の地、文人の憧れである理想郷が表現されています。山水画の世界をお楽しみください。
11	月	
12	火	
13	水	
14	木	設備点検および展示替えのため休館
15	金	12月14日(木)～20日(水)
16	土	
17	日	
18	月	
19	火	
20	水	
21	木	冬の所蔵品展Ⅰ
22	金	「ベストセレクション － 必見！日中書の名品
23	土	特集　生誕180年記念　呉昌碩と朋友との結びつき」
24	日	会期：2023年12月21日(木)～2024年2月12日(月・休)
25	月	休館日：月曜休館
26	火	※ただし1/8(月・祝)、2/12(月・休)は開館。12/28(木)～1/1(月・祝)は年末年始の休館。
27	水	1/9(火)は休館。1/23(火)は展示替えのため休館。
28	木	会　場：常設展示室・展示室
29	金	
30	土	
31	日	

訪ねてみたい場所・桃源郷とは？

桃源郷とは、中国、六朝時代の詩人、陶潜(字・淵明、365-427)の記した『桃花源記』の中に登場する場所に由来し、人々が豊かに暮らす平和な地『理想郷』と意味を同じくする言葉として使われています。その桃源郷とは、どんな世界なのでしょう？ ちょこっと紹介します！

まず、漁夫が主人公として登場します。舟で魚を追っていると迷ってしまい、桃の木林が広がる水源に到着。舟から降りると、小さな入り口を発見します…不思議に思いながらも、その奥へ進むと、突然目の前は開けます！ そこには、美しい土地と実り豊かな畑が広がり、楽しそうに暮らす人々と遭遇します。村人は釣り人を囲み、豪華な食事と共に宴を準備してくれました。村人たちの話を詳しく聞くと、秦代の戦を避けて山深く逃げ入り、500年近く外界との交流を断っていることが分かったのです！釣り人はその地での暮らしを満喫し、家に帰ることにしました。そして、村人たちに別れをつげると…「この地のことは口外しないでほしい」と口留めをされました。しかし、釣り人は帰り路に目印をつけながら帰っていき、帰るとすぐに太守のところへ行き村の話をしました。太守もすぐに人を派遣させ、釣り人もついていきました。ところが…目印は跡形もなく消え去り、結局あの路を探すことはできなかったということです。

陶潜は『桃花源記』の最後に、この場所・桃源郷を「訪ねてみたい場所である」と結んでいます。みなさんも展示室で桃源郷を訪ねてください★

所蔵品展観覧料

一　般	１５０円　（１２０円）
高校生以下無料	

※(　)内は有料20名以上の団体料金

次の方は観覧料が**無料**です

- ■社会福祉施設に入所されている方
- ■福山市・府中市・神石高原町に住所を有する65歳以上の方（運転免許証やマイナンバーカードなど、住所・年齢が確認できるものが必要）
- ■身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳を持参する方、及びその介護者1名

※開館時間は午前9時３０分から午後5時までです。
※月曜日【　　の日】は休館日です。

FUKUYAMA MUSEUM OF CALLIGRAPHY
ふくやま書道美術館
〒720-0067　福山市西町二丁目4番3号
JR福山駅福山城口(北口)から西へ約400m　TEL 084-925-9222
Webページ　www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/fukuyama-syodo/
電子メール　syodo@city.fukuyama.hiroshima.jp